
《200文字小説》 食う *変更有り

千嶋桂華

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

《200文字小説》食う *変更有り

【コード】

N3768S

【作者名】

千嶋桂華

【あらすじ】

部活の先輩から聞いた話。 まあ、その先輩も誰かから聞いた話らしいですけど。

(前書き)

部活の先輩から聞いた話ですーハッハー！

駅の構内で一人の男が、道行く人に向けて何か呟いている。
興味を持った俺は、その呟きを盗み聞きしてみることにした。

「人」

なるほど、普通のサラリーマンだ

「豚」

確かにデブいなあのおばさん

「鳥」

あのモヒカンがな

「レタス」

あーレタスの模様のファイルか

「牛」

服の柄か？

突然彼は俺の方を向いて、「爪」と言った。
爪がどうしたって？

「私はそいつが最後に食べたものが分かるんだ。」

ああ、成程。

玲子の指、食べちゃったもんな。

(後書き)

答え分かりました？

*「俺」が言われた言葉を、「手」から「爪」に変えさせてもらいました。

まあ、俺が何を言われたかはほぼ関係ナツシングなんですよ。草だろつが絵の具だろつが吐瀉物だろつが脳髄だろつが。重要なのは、その前です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3768s/>

《200文字小説》食う *変更有り

2011年10月8日12時25分発行